

評価センター提供用データの提供要領等について

1 対象となるデータ

- (1) 令和8年度課税分の固定資産税路線価等公開情報に係るデータです。
- (2) 地方税法附則第17条の2第1項の規定に基づく令和8年度における土地の価格に関する修正（下落修正措置）を行う市町村及び令和7年中に状況類似地域（区）、路線価線、標準宅地の見直しを行い位置等に変更が生じた市町村が対象となります。
- (3) 宅地の評価方法において、路線価に基づいた「市街地宅地評価法」を適用せず、「その他の宅地評価法」を全域で適用している市町村も対象となります。

2 データ作成に当たって

○業者等委託によりデータを作成する市町村

以下留意事項を委託業者に共有してください。

- (1) 作成したデータを「データ定義書」にしたがって、Shape形式のフォーマットに変換してください。特に「全国地価マップ」に表示される価格が誤っていると連絡を受けることが多くあります。路線価格は『ROSEN_K』の数値、標準宅地は『HYOTA_K』の数値が表示されます（ROSEN_K_J3やHYOTA_K_J3の数値は表示されません）。時点修正後の価格を表示させる場合はこちらに時点修正後の価格を入力してください。
- (2) 変換後、「論理チェックプログラム」でエラーが発生しているかどうかのチェックを必ず行い、エラーがないことをご確認をお願いします。
- (3) チェック後のデータを「路線価等システム」(Ver. 5.00以上)の「データ入出力プログラム」で出力し作成してください。提供するCD-RまたはDVD-R（以下「CD等」という。）には、全国地方公共団体コードの付番のあるフォルダだけを取り込み、他のエクセルデータ等は取り込まないでください。データ形式は「3 提供時データ形式について」を参照ください。
- (4) 「路線価等システム」の背景地図は、日本測地系で管理されていますので、データ作成に当たってはご注意ください。

※「データ定義書」及び「論理チェックプログラム」は、当センターホームページからダウンロードできます。（<https://www.recpas.or.jp/>）

○「路線価等業務管理システム」（以下、「路線価等システム」という）を使用し、データを作成する市町村

提供していただくデータの作成方法は、「評価センター提供用データの作成マニュアル」(市町村用 No. 2)を参照してください。

3 提供時データ形式について

作成したデータを提供される際、フォルダ内が下図のような状態になっていることを確認してください。データ形式はSHP、DBF、SHX ファイルの形式（以下、「SHP ファイル等」という）で、21 個の SHP ファイル等と 1 個のテキストドキュメントがあることを確認してください。これ以外のデータは不要です（処理エラーとなる可能性があります。）

「路線価等システム」からのデータ出力方法は「評価センター提供用データの作成マニュアル」26 ページを参照ください。

名前	更新日時	種類	サイズ
48001.log	2023/01/17 16:54	テキストドキュメント	1 KB
HYOJ_ANN.DBF	2023/01/17 16:54	DBF ファイル	164 KB
HYOJ_ANN.SHP	2023/01/17 16:54	SHP ファイル	9 KB
HYOJ_ANN.SHX	2023/01/17 16:54	SHX ファイル	3 KB
HYOJ_SYM.DBF	2023/01/17 16:54	DBF ファイル	164 KB
HYOJ_SYM.SHP	2023/01/17 16:54	SHP ファイル	9 KB
HYOJ_SYM.SHX	2023/01/17 16:54	SHX ファイル	3 KB
JYOU_ANN.DBF	2023/01/17 16:54	DBF ファイル	18 KB
JYOU_ANN.SHP	2023/01/17 16:54	SHP ファイル	3 KB
JYOU_ANN.SHX	2023/01/17 16:54	SHX ファイル	1 KB
JYOU_LIN.DBF	2023/01/17 16:54	DBF ファイル	19 KB
JYOU_LIN.SHP	2023/01/17 16:54	SHP ファイル	61 KB
JYOU_LIN.SHX	2023/01/17 16:54	SHX ファイル	1 KB
ROSN_ANN.DBF	2023/01/17 16:54	DBF ファイル	1,140 KB
ROSN_ANN.SHP	2023/01/17 16:54	SHP ファイル	107 KB
ROSN_ANN.SHX	2023/01/17 16:54	SHX ファイル	31 KB
ROSN_LIN.DBF	2023/01/17 16:54	DBF ファイル	1,152 KB
ROSN_LIN.SHP	2023/01/17 16:54	SHP ファイル	379 KB
ROSN_LIN.SHX	2023/01/17 16:54	SHX ファイル	31 KB
ROSN_SYM.DBF	2023/01/17 16:54	DBF ファイル	2,289 KB
ROSN_SYM.SHP	2023/01/17 16:54	SHP ファイル	214 KB
ROSN_SYM.SHX	2023/01/17 16:54	SHX ファイル	62 KB

4 データの提供方法について

データは、CD等に収録して次のとおりご提供をお願いします。CD等を都道府県の市町村税担当課に送付するに当たっては、必ずケースに入れ、搬送中に毀損することのないよう十分留意してください。

(1) CD等への記載

CD等には、次の項目を油性ペン等で直接記載するかまたは記載したラベルを貼付して提供してください。

- ・都道府県名
- ・市町村名
- ・全国地方公共団体コード(検査数字を除く5桁)
- ・(データの作成を外部に委託した場合)提供データ作成会社等の名称、住所、電話番号、担当者名

(2) CD等のケースへの記載

CD等のケースにも、(1)の項目を油性ペン等で直接記載するか、または記載したラベルを貼付して提供してください。

(3) 時点修正後(令和7年7月1日)の標準宅地価格、路線価のデータを提供する市町村にあつては、CD等及びCD等のケースに貼付するラベル等に朱書きで「時点修正後」と表示してご提供をお願いします。(地価マップで時点修正後令和7年7月1日時点の価格表示となります)

(4) 合併した市町村で、合併前の旧市町村単位のデータを提供する場合、CD等及びCD等のケースに貼付するラベル等に朱書きで「合併前のデータ」と表示してご提供をお願いします。また、この場合、市町村名及び全国地方公共団体コードは、それぞれ合併前の旧市町村名、合併前の旧全国地方公共団体コード(5桁)を記載してください。

5 データの提供先及び提供期限について

都道府県の市町村税担当課あてに、同課の指定する期限までにご提供をお願いします。

6 提供いただいたデータについて

- (1) 集約した固定資産税路線価等の公開情報を、都道府県単位でDVD-ROMに取りまとめ、都道府県及び市町村に7月中に配付する予定です。
- (2) 集約した固定資産税路線価等の公開情報は、(1)の配付のほか当センターホームページで公開している「全国地価マップ」に、加工等せず7月中に掲載する予定です。(https://www.chikamap.jp/)

7 窓口でのパソコンによる路線価等の公開について

このたび、当センター提供用として作成していただいたデータは、「路線価等情報公開システム」により公開に用いることができます。ぜひ、窓口でご活用ください。

8 よくある質問（Q&A）

当センターには、市町村から多くの質問が寄せられますので、メール（teisyutsu@recpas.or.jp）で問い合わせをお願いいたします。

提供データの作成方法等については、別添の「評価センター提供用データの作成マニュアル」をご一読ください。

なお、以下によくある質問を掲載しましたので参考にしてください。

○「路線価等システム」インストール・起動関連

Q 「路線価等システム」のインストールマニュアルはありますか。

A 当センターHP⇒トップ画面左のメインメニューの「路線価等公開情報のデータ提供」⇒「路線価等システム Ver. 5.00（又は6.00）インストールプログラムのダウンロード」⇒「路線価等システム Ver. 5.00（又は6.00）インストールマニュアル」をご覧ください。

Q 「路線価等システム」のインストールができない（先に進めない）。

A 各市区町村内でセキュリティがかかっている場合があります。情報システム担当部署へご確認いただき、解決しない場合はメールでお問い合わせください。

Q 「路線価等システム」を起動すると、「初期化に失敗しました。路線管理データファイルが見つかりません」と表示されてしまう。

A 使用端末へ「路線価等システム」をセットアップしたのみで、路線価データをインストールしていないことが考えられます。路線価データのインストールを実行してください。もし、路線価データもインストール済みであれば、システムのファイルにアクセスできない状態ですので、「路線価等システム」の再インストールをしてください。

Q DVD-ROMの中に「RosenInstall.exe」（又はRosenInstallStart.exe）という名前のファイルが見つからない。

A パソコンの設定でファイル名拡張子を非表示としている場合、「.exe」の文字が表示されません。この場合、「RosenInstall」（又はRosenInstallStart）と表示されたファイルを実行し、セットアップを開始してください。

(注) 同じフォルダ内にある「RosenInstall.exe.config」は別ファイルのため実行しないでください。

Q 「Microsoft .NET Frameworkがインストールされていない」旨のメッセージが出て、インストールできない。

A 当センターHP⇒トップ画面左のメインメニューの「路線価等公開情報のデータ提供」⇒「路線価等システム Ver. 5.00 インストールプログラムのダウンロード」⇒「路線価等システム Ver. 5.00 インストールマニュアル」のP14を参照ください。

Q 「インストール作業中にエラーが発生しました。文字列の長さを0（ゼロ）にすることはできません。」というエラーメッセージが表示される。

A パソコンの管理者権限がないユーザーがインストールを行う際に、エラーメッセージが表示されます。システム管理者等の管理者権限ユーザーでログインし、インストールを行ってください。

Q インストールの途中でパソコンが固まってしまい「応答なし」になった。

A DVD-ROMから直接インストールを行った際に、DVD-ROMの読み込みが途中で失敗している可能性があります。DVD-ROM内のファイルをすべてパソコンのローカルドライブ内にコピーし、再度インストールを行ってください。

Q 「路線価等システム」を起動する際のパスワードがわからない。

A 初期パスワードはkoteiです。ただし、各市町村において過去にパスワードを変更している場合には、当センターでは把握できません。もし変更後のパスワードがわからない場合は、お手数ですがシステムの再インストールをしてください。

○データ作成関連

Q 時点修正率期間はいつからいつまでか。

A 令和8年度課税分の時点修正率期間は、令和5年1月1日から令和7年7月1日の2年半です。

(「評価センター提供用データの作成マニュアル」16・24ページ参照)

Q 路線価線、標準宅地、状況類似地域を新設・移動・削除したい。処理方法についてのマニュアルはありますか。

A 当センターHP⇒トップ画面左のメインメニューの「路線価等公開情報のデータ提供」⇒「「路線価等業務管理システム」活用の手引き」をご覧ください。

- Q 「全国地価マップ」では、どこに入力した部分の価格が掲載されるのか。
- A 路線価は、提供データ作成時「E」欄の路線価（円/㎡）に入力した価格です（「評価センター提供用データの作成マニュアル」16ページ参照）
標準宅地価格は、提供データ作成時「H」欄の価格（円/㎡）に入力した価格です。（「評価センター提供用データの作成マニュアル」24ページ参照）

- Q 標準宅地価格・路線価が、入力エラーとなってしまった。
- A 例えば、「50000（円）」を「50,000」と入力している場合は、「50000」（カンマ「,」なしの生数字）で入力してください。（「評価センター提供用データの作成マニュアル」16・24ページ参照）

○地価マップ関連

- Q 提供したデータに誤りがあった。
- A 地価マップ定期更新のタイミングが月2回ありますので、再提供差し替え用データ（修正分だけでなく、全件のデータ）を当センターへ直接メール又は郵送で送付してください。その際、修正データの価格時点（価格調査基準日 R5.1.1 or 時点修正後の価格）も併せてお伝えください。ただし、すでに当センターから送付したDVDについては差し替えることができません。なお、過年度分も修正がある場合は、年度別にフォルダを分けて送付してください。

9 その他

- (1) 令和8年度は下落修正を実施せず、かつ状況類似地域、路線価線、標準宅地の見直しができない等、データを提供する必要がない市町村については、令和7年度のデータをコピーして令和8年度のデータとします。（ただし、令和6、7年度にデータ提供がない場合はコピーできませんので、ご提供をお願いします。）
なお、コピーしたデータは、DVD-ROMに収録するとともに「全国地価マップ」にも掲載します。
- (2) お問い合わせは、以下のメールアドレスまでお願いいたします。

【問合せ先】

一般財団法人資産評価システム研究センター 業務システム部
e-mail: teisyutsu@recpas.or.jp